



令和8年3月1日

こぼうしこども園

雪でなく雨の降る日が増えましたが、冬に雨が降ることは、春に近づくサインだと聞きます。春が待ち遠しい今日この頃ですが、この季節は寒暖の差が激しいので、くれぐれも体調には気をつけたいものです。

引き続き、手洗いの徹底・休息も心がけていながら、今年度残りのひとつき元気に過ごせるようにしましょう。



## 带状疱疹・水痘（水ぼうそう）について

带状疱疹と聞くと、高齢の方の疾患のイメージがありますが、子どもにも発症する場合があります。また、園でも先月末より水痘流行のきざしがありますので、水痘と带状疱疹についてお伝えしたいと思います。

### 《症状》

○水痘……発熱や、全身(頭や口の中を含む)にかゆみを伴う発疹(赤い発疹、水ぶくれ、かさぶた)ができる。

水痘は初めてかかったときにでる。※予防接種をしても感染する場合があります。

○带状疱疹…体の左右どちらか一方にピリピリとさすような痛みと赤い発疹、水ぶくれができる。

水痘にかかった後や、予防接種後に神経節にウイルスが潜伏し、後に疲れや病気や年齢などで免疫力が下がった時にでる

※水痘にかかったことがなくても予防接種をすると、体内にウイルスが潜伏しているためと発症する可能性がある。

### 《感染経路》

○水痘……飛沫・空気・接触感染

感染力が強く、ウイルスの粒子が小さく長時間空気中に漂っているので広範囲に感染が広がる。

○带状疱疹……接触感染

発疹の水ぶくれに直接接触することでうつる。  
※带状疱疹としてではなく、水痘として発症する。

《登園の目安》 水痘・带状疱疹ともに、すべての発疹が痂皮(かさぶた)化していること 厚生労働省 保育所における感染症対策ガイドラインより

**水をもった発疹がかさぶたになり、乾いてから登園してください。**

水痘は軽く見られがちですが、強い感染力と重症化リスクを持つ感染症です。予防接種することで、発疹が少なく、発熱が軽い「軽症水痘」で済むケースが多くなります。肺炎や脳炎などの合併症を防いでくれる効果もあります。2回接種が完了していれば、長期間にわたって高い免疫が保たれるのでまだの方は接種することをお勧めします。

带状疱疹は免疫が落ちたり、疲れやストレスがきっかけで発症することが多い病気です。水痘も免疫力が下がれば感染しやすくなります。お子さんが「かゆい」と肌を掻いていたので見てみたら発疹があり、受診したところ水痘だったという例もあります。お子さんの様子をしっかりと観察していただき、水をもった発疹がある場合には受診をお願いいたします。また、園で発熱や発疹が見られた際には、保護者の方に連絡をいれますので、速やかなお迎えのご協力も合わせてお願いいたします。

**園内へは持ち込まない！にご協力をお願いいたします。**

先月園内に複数の落し物がありました。お菓子、お菓子の袋の切れ端、シールなどですが、朝の受け入れ時や同じ時間帯の廊下に落ちていて保護者の方が見つけてくれました。保護者の皆様にも、誤飲を防ぐために、菓子などの小さな落し物に注意を払って下さって感謝しております。

園ではアレルギーのお子さんもお預かりしています。様々なアレルギーに対応して、栄養士や担当が日々細心の注意をはらっているところです。万が一、食べてはいけない食品を口にしてしまった場合、重篤な症状を引き起こすこともあります。

また、シールやお菓子などの包み紙など、誤飲の可能性があり最悪の場合、窒息などの死亡事故に繋がります。

0.1歳は何でも口に入れてしまう時期ということをご理解いただき、朝の登園時などは特に、お子さんの衣服やポケットの中をしっかりと確認していただき、お菓子など 園内に持ち込まないようご協力をお願いします。

## 健康診断のおしらせ

4月8日(水)に令和8年度前期の健康診断を予定しています。

年に二度義務づけられている大切な健診ですのご協力をよろしくお願いたします。

※都合でお休みの際は、その時間のみの登園をお願いします。

どちらも“水痘・带状疱疹ウイルス”という同じウイルスが原因の病気

